

1 合併について

問 将来的に、3町が一つになれるスポーツ行事を検討してほしい。

答 体育協会の総会で、今年度はそれそれ旧3町がやっていたことを取り組むことになっているようです。来年度からはなるべく一つの方向でやれるように調整していると聞いています。行政としてもそういう環境づくりを進めたいと思います。

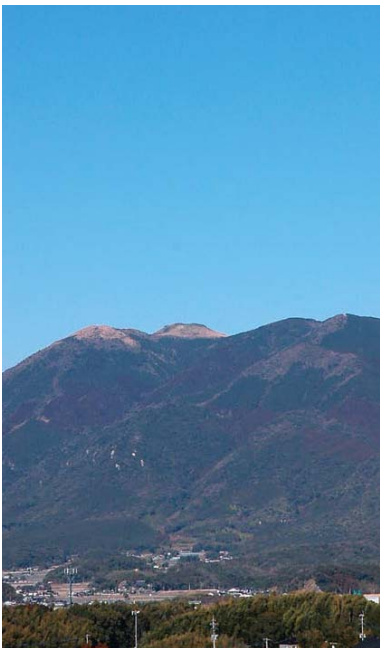
問 福智町の町議会議員の定数はどうなっていますか。

答 本来48人の定数ですが、旧方城町旧金田町が一人ずつ辞職していますので、旧金田と旧方城が15人ずつ、赤池町が16人で、46人です（現在は44人）。これは一年間の特例ということ、統一地方選挙の時点で20人の議員になります。

問 合併のメリットは何ですか。
答 主なものとしては町行政に関わる人件費の抑制で、町長、助役、教育長が1人ですみずみずし、議員も平成19年4月から20人になります。行政の委員も3分の1になりますし、職員も減少しますので、その経費を住民サービスの向上のために使うことができます。

問 今後の合併についてどう考えていますか。
答 平成18年に合併したばかりですし、今は福智町が生き残れる環境づくりが大切です。このまま自力で行けるなら合併の必要はないと思います。しかし、国の方策で新たな合併が必要になるかもしれませんが、今のところは考えていません。

問 合併する前に各町でプラン（計画）がありましたか、合併してそのプランを継続していくのですか。
答 各町で策定した計画は、合併後に各町が引き続き実施していく予定です。



↑町のシンボル福智山。

問 各種団体への助成金についてどうお考えですか。
答 現在、行財政改革推進委員会で議論してもらっていますが、大きな団体であれば、体協、文化連盟、老人クラブなど、町内に随分とあります。全て一律にカットするという議論もありますが、本当に必要なものでカットする訳にはいきませんので、今後、答申内容を検討し、精査し、カットするのはカット、現行通り維持するものは維持する方向で整理したいと思います。

問 業者指定についてどうお考えですか。
答 わたし（町長）が私欲を捨てて町民のみなさんのために、地域づくりのために身を投げ出す、この姿勢が大事だと思えます。例えばある業者との噂なり不信感をまず持たれないように自重していきます。そのことが、町民のみなさんの信頼につながることであり、公平公正である必要最低限の姿勢ではなからうかと思えます。

問 旧赤池町長時代、入札監視委員会を設置して民間を登用していましたが、今後その制度は継続していくのですか。すばらしい制度なので、ぜひ今後も継続していただきたいと思えます。
答 汚職を防ぐためにも入札監視委員会の設置を継続していきたいと思えます。

問 行政は縦割り行政で、一つの課は忙しいのにもう一つの課は暇にしているというのを時々見ますが、研修を含めて考慮してほしい。
答 縦割り行政の弊害は、一つの課は忙しいのにもう一つの課は暇にしているというのを時々見ますが、研修を含めて考慮してほしい。

問 行財政改革の中で行政機構の見直しも考えています。町職員の質の向上を含めて検討していきます。
答 行財政改革の中で行政機構の見直しも考えています。町職員の質の向上を含めて検討していきます。

問 支所を利用して図書館にするのですか。図書館の運営は優秀な図書館書で決まると思いますが、図書館の配置はどう考えていますか。
答 合併協議会の中では旧方城支所を図書館という意見がでていましたが、方城支所の建物はすばらしい施設です。例えば企業の外食産業がこの施設を見たとき、おそらくほしいなと思うような施設だと思えます。ですから、行財政改革推進委員会の答申を待たなければなりません。現職員のうち図書館を作るの、あるいは支所機能を別の場所に移して他の方法をとるか、結論を出すまで少し時間をいただきたいと思えます。なお、図書館は司書が配置されて然るべきであり、現職員の中に図書館の免許取得者が3人しかいません。今後の職員研修の中で、図書館の資格が取れるような研修にも職員を参加させたいと思えます。

問 財政難といいますが、町税や水道などの公共料金も上がるのですか。
答 もし税や公共料金を上げざるを得ない時があれば、町民のみなさんのご理解を得たうえで行っていきたいと思えます。

問 財政再建のために住民にも痛みを持ってもらわなくてはならないとのことですが、どのようなことですか。今、町の職員も多いし、施設も多い。保育所も町営です。また施設を民間に移譲するということをぜひお願いします。
答 行財政改革推進委員会の具体的な答申があった段階で、私の考えと合わせて最終的な結論にしたいと思います。

問 旧3町のプランにつきましても合併協議の中で大まかな合意ができています。8月から福智町の総合計画、今後10か年を見通したまちづくり計画策定委員会が立ち上がっています。それぞれの分野で合併協議の中身も踏まえながら福智町独自のまちづくり計画策定の審議をしていただいています。旧町のプランや合併協議のプランを踏まえて作業を進めていきますので、できましたらご報告したいと思います。

2 行財政改革について

問 町の借金はどのくらいありますか。また、その原因は何ですか。
答 現在、約250億円あります。一つの理由は、公共施設（箱物）を作ってきたことだと思えます。施設の建設には多額の費用がかかるため、頼らざるを得ないのが起債と補助金です。その積み重ねが莫大な借金となった理由だと思います。これからは、そのようなことはできる限り明確にして、町民のみなさんに示し、ご理解をいただきたいと考えています。

問 今年度の当初予算は153億円ですが、合併する前の旧町、方城、赤池、金田の予算と現在の予算は変わらないのではないですか。
答 この一年間は、旧3町が引き継いできた事業を優先させているので、旧3町を合わせた予算とほぼ変わりません。来年度以降、そういったものを目で見える形で、見直しをしたいと思います。

問 合併特例債はどれくらいあるのですか。また、その使い道はどうなるのですか。
答 約130億円の合併特例債を組むことができます。ただし、合併したからお金が国からくるわけではありません。合併に伴い、なくてはならない施設、道路などの工事費について、国が認めてくれた借金です。これは誤解されている人もいますが、合併したから国から130億円のお金をもらえるのではなく、あくまでも借金です。ですから、なるべくこれに頼りたくないと思えます。ただし、町にとつて必要なものは、みなさんのご理解をいただいで、この制度を活用したいと思います。

問 合併特例債は戻していかなければならないのですか。その返済の内訳を教えてください。
答 例えば、20億の仕事をするとしますと、その95%を合併特例債で借りることができます。残り5%の1億円は福智町の一般財源です。特例債の返済に対しては、70%は地方交付税が措置され、残りの30%が町の負担になります。国が全部をまかなってくれる訳ではなく、一定割合を町が負担しなければなりませんので、やみくもに合併特例債があるから使うことになると、将来大きな負担となってまいります。

問 歳入・歳出のお話がありました。何年計画で見通しているのですか。
答 現在、行財政改革推進委員会で議論をしております。1年単位だけでなく、10年から15年の見通しを立てた取り組みをしていきたいと思っております。

問 町立保育所がなくなり、民間経営になるという話を聞きましたが、どうなんですか。
答 町立の保育所は金田に1か所、方城に2か所あります。そのほか9か所は私立です。ひょっとしたら、行財政改革推進委員会の中で民間にという答申があるかもしれませんが、保護者の人や地域の人の考えも十分お聞きしながら了解をもらわないと一気にはできませんので、その時点から考えて行きたいと思えます。

問 隣保館などの統廃合についてはどう考えていますか。
答 現在、田川郡の町村会で隣保館、教育集会所などの今後の見直しを協議しています。例えば隣保館は現行どおり行政の管理運営、教育集会所などについては地元に移管して財政負担を軽減する。あるいは、統合して大きな施設にするなど、

郡全体で議論している最中です。また、行財政改革推進委員会でも回答があると思えますので、それらを踏まえて具体的にやっていきたいと思えます。
問 ゴミ袋の値段について今後どうお考えですか。
答 ゴミ袋は大きなもの10枚組で以前は800円でしたが、現在は600円で購入できます。しかし、合併協議の中では年々値上げし、従来の価格に戻すとなっています。わたしはこのようなゴミ袋に



↑最終調整に入った行財政改革推進委員会。